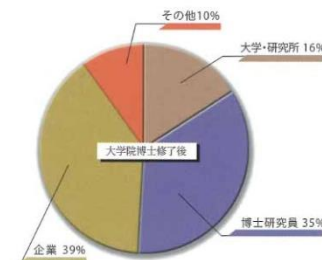


第1回/第3回 化学人材育成プログラム支援対象専攻 取組みの概要

専攻名： 東京大学大学院理学系研究科化学専攻

【専攻の概要】

- 1861年設立(徳川幕府蕃書調書精錬方)で、本年で150周年
うまみ成分(グルタミン酸ナトリウム)の発見(池田菊苗), 回転異性体の発見(水島三一郎), 有機半導体の発見(赤松秀雄, 井口洋夫), アルドール反応の開発(向山光昭)等
- 欧米有力大学をも上回る一流誌への論文掲載数、世界トップレベルの研究力
- 学生:学部93名;修士課程136名;博士課程96名(平成26年4月現在)
- 教員
基幹講座45名
物理化学系:構造化学, 物性化学, 量子化学;有機化学系:生物有機化学, 有機合成化学, 天然物化学, 物理有機化学
無機・分析化学系:固体化学, 分析化学, 無機化学, 生物無機化学
協力講座40名(物性研究所, 総合文化研究科, 新領域創成科学研究科等)
- 進路
学部はほとんどが大学院へ進学;修士課程修了者は半数は企業へ, 半数は博士課程進学;博士課程修了者は, 4割は直ちに企業就職. ポスドクを経て企業就職するものも多い.
- 成果
博士課程在籍者が, 2013年1年間に22件の受賞

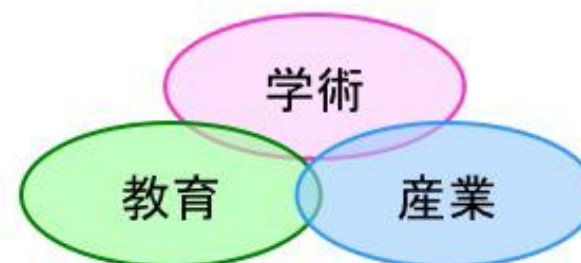


博士修了後の進路(平成21-25年度)

【取組みの概要】

[目指す人材像]

- 世界トップレベルの研究室で研究を進めた自信を持つ
- 課題設定力, 課題解決力がある
- 異分野とのコミュニケーション力がある
- 広い視野をもつ
- グループ内外でリーダーシップがとれる
- 特許出願等知財の確保の経験を持つ
- 英語ディスカッション, プレゼン, 論文執筆ができる
- 幅広く人脈を持つ



バランスのとれた人材育成

連絡先

- 担当者名:専攻長 菅 裕明
- Tel: 03-5841-8372
- E-Mail: hsuga@chem.s.u-tokyo.ac.jp

第1回/第3回 化学人材育成プログラム支援対象専攻 取組みの概要

専攻名： 東京大学大学院理学系研究科化学専攻

【取組みの概要】

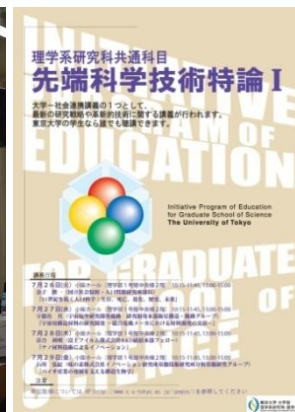
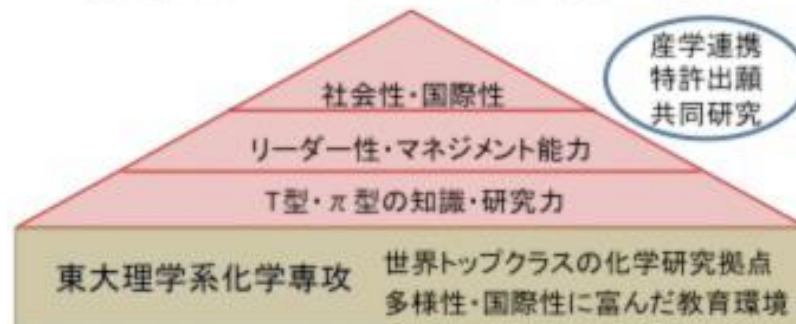
○カリキュラム

- ・英語教育専門のネイティブ教員による化学英語教育
- ・大学院の専門科目講義を英語で実施
- ・学位審査は公開で、英語で実施
- ・博士課程入試でプロポーザル試験
- ・産業界講師による先端科学技術特論
- ・既存分野を越えた理学クラスター講義や現代科学史概論
- ・企業出身教員による知財戦略講義

○カリキュラム外の取組み

- ・毎週のように行われる内外講師の講演(化学教室雑誌会)
- ・博士号獲得後のキャリアを考えるキャリアシンポジウム
- ・各研究室に外国人がいることにより日常的に鍛えられる国際感覚
- ・企業の研究開発の実態を紹介する先端企業R/D説明会
- ・外国人と日本人の若手研究者同士がディスカッションするZESTY
- ・海外で異なるテーマの研究に携わる海外短期留学
- ・海外留学の設定・交渉・調整等によって身につく自立性
- ・学部生、修士課程学生を指導することで身につくリーダーシップ
- ・シンポジウムの企画・運営を行うことで身につくマネジメント能力

世界トップレベルの化学人材の輩出



連絡先

- 担当者名：シニア・リサーチ・アドミニストレーター 林 輝幸
- Tel: 03-5841-0469
- E-Mail hayashi@chem.s.u-tokyo.ac.jp